

CAR VISION

車両用後方監視カメラシステム

カービジョン 融雪対応ケーブル

型名 HG 8 8

取扱設置説明書

- ご使用前に、この欄を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。

- このたびは、融雪対応ケーブルをお買い上げいただきまして、ありがとうございました。
- ご使用の前に正しく安全にお使いいただくため、この取扱設置説明書を必ずお読みください。そのあと大切に保管し、必要な時お読みください。

●本文中に使われる「図記号」の意味は次の通りです。

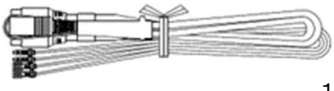
	してはいけない内容です		必ず行ってください内容です
	注意しなければならない内容です		
	警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性のあるもの	
	注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または物的損害に結びつく可能性のあるもの	

⚠ 警告		⚠ 注意	
ケーブルを傷つけない、加工しない  重い物をのせたり、熱器具に近づけないこと。 ケーブルが破損します。 ケーブルに傷がついたまま使用すると火災・感電の原因となります。 電源ケーブルを加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったりすると火災・感電の原因となります。ケーブルが傷んだらすぐに販売店へご連絡ください。	異物をいれない  金属類や燃えやすいものが入ると、火災の原因となります。 万一異物が入ったときは、車両の運行を中止し、車両のメインスイッチをOFFにして販売店にご連絡ください。	後方確認用としたときはモニター映像が鏡像（バックミラーと同様）であることを確認してください  設定を誤るとモニター映像の左右の確認を誤り、事故などの原因となることがあります。	車体に穴を開けて機器の取付けあるいはコードの配線を行ったときは、開けた穴のすき間やコードとのすき間をシリコン接着剤などで密封する  排気ガスや水などがすき間から室内に侵入して事故などの原因となることがあります。
万が一異常が発生したら車両のメインスイッチを切る  映像が出ない、煙、変な音、においがあるなど異常状態のまま使わないでください。火災の原因となります。 このようなときはすぐに車両の運行を中止し、車両のメインスイッチをOFFにしてください。 煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。	指定以外のものと接続しない  指定以外のモニター、パワーアダプター等との組み合わせは故障の原因となります。	コード類の結線修了後は、コード類をクランプや絶縁テープで固定する  コード類が車体部分との接触により、すりきれてショートし、事故や火災の原因となることがあります。	車体に穴を開けてコード類を配線するときは、絶縁性グロメットを使用する  開口部とコード類との接触により、すりきれてショートし、事故や火災の原因となることがあります。
		必ず付属の部品を指定通り使用する  指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品を傷めたり、しっかりと固定できずに外れたりして、事故や故障などの原因となることがあります。	正規の接続をする  誤った接続をすると、火災や事故の原因となることがあります。

■取付上のご注意

⚠ 警告		⚠ 注意	
配線作業中は、バッテリーのマイナス側ケーブルを外す マイナス側ケーブルを外すことなく作業をすると、ショート事故による感電や、怪我の原因となります。	コード類は、取付説明の指示に従い、運転操作の妨げとならないよう、まとめておく ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となります。	車体のネジ部分、シートレールなどの可動部に配線をはさみ込まない 断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となることがあります。	モニターを天井などの不安定なところに取付けない 正しい設置を行わないと、モニターが落下して事故や怪我などの原因となることがあります。
車体に穴を開けて取付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触することがないように注意する パイプ類などの破損により、火災や故障などの原因となります。	電源リード線の被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対に止める リード線の電流容量をオーバーし、火災や感電の原因となります。	カメラを取付ける場合は、車幅からはみ出さない場所、また、車の前後からはみ出さない場所に取付ける 歩行者などに接触して事故の原因となることがあります。	コード類及びグロメットには塗装を行わない コード類の被覆及びグロメットが腐食し、事故や感電、火災や浸水の原因となることがあります。
接続コード類の配線は高熱部や回転部を避けて行う コード類の被覆が溶けたり、断線したりしてショートし、事故や火災の原因となります。特にエンジンルーム内の配線には注意してください。	車体のボルトやナットを使用してアースをとるときは、ステアリングやシートレール、ブレーキ系統などの重要保安部分のビスは使用しない 事故や故障などの原因となります。	車体のビスを使用して取付けを行うときは、ネジがゆるまないように確実に締付ける ネジがゆるみ、事故や故障などの原因となることがあります。	

■構成部品

①ケーブル  1 本	②取扱設置説明書 本紙
---	----------------

別途手配品（別売品）

- 1) モニタ : CM7230R（融雪カメラの接続は、2 台まで可能）
CM6020R（融雪カメラの接続は、1 台のみ）
【ご注意】モニタが CM6020R の場合、融雪カメラ接続でサイドカメラは接続できません。
融雪カメラとサイドカメラをご利用の場合は、CM7230R をご使用ください。
- 2) 融雪カメラ : C4075R C5075R
- 3) 小型ケーブル : W5020R(20m)、W5023R(23m)、又は W5020R と中継ケーブル W5004RR の組み合わせ(24m)等
【ご注意】ケーブル長は、20～24m の範囲で使用してください。
- 4) ヒータ ON/OFF スイッチ : 別売品の HTS4000/HTS4001 又は、市販品の ON-OFF スイッチをご使用ください
【ご注意】自照式タイプのスイッチの場合は、電源電圧が DC12V 品をご使用ください。

* 市販スイッチについて

ヒータON/OFFスイッチは必ず接続ください。別売のON/OFF スイッチ（HTS4000又はHTS4001）をご使用でない場合は、右図のような市販品のON/OFFスイッチをご使用ください。
自照式タイプのスイッチをご使用時は、電圧12V、1A、接点抵抗100mΩ以下のものをご使用願います。



取付時のお願い

●ケーブルは特殊ケーブルですので、絶対に切断及びねじりを与えないでください。また、無理な曲げ（最小半径R 25、最小曲げ角度90°）を与えないよう、十分注意して下さい。	●この他細部の設備要項は、車種、車体により異なりますので、それぞれの条件に応じて付属品を活用してください。
●ケーブル・コネクタは無理に引っ張らないでください。ケーブルが断線したり、故障の原因となります。	●ケーブル保護のために金属のエッジ部や高温部、回転部の近くに布設する場合は、市販のコルゲートチューブやグロメット、ビニールテープなどを利用して保護してください。
●ケーブルの引廻しは、ノイズを受けやすいアンテナ等及びノイズ発生源のバックブザーや蛍光灯などの配線に近づけないでください。（50cm以上離して布設してください）	●防水ではありませんので、車室内に設置してください。

取 付 順 序

結線方法

結線方法の手順は下記の通りです。※詳細は融雪カメラの取扱設置説明書に従って取付けして下さい。

- 1) コネクタ①とコネクタ②をモニター側のD I Nコードを接続します。
- 2) コネクタ③を融雪カメラ側の中継ケーブルへ接続します。
- 3) ヒータスイッチ 赤（ギボシ・メス）のハーネスをヒータON/OFFスイッチの電源入力側へ接続します。
- 4) シャッタ/ヒータ 白（ギボシ・オス）のハーネスをヒータON/OFFスイッチの電源出力側へ接続します。

